

プラスチックごみ削減の取り組み

エコ包装の推進

エコトレー® とエコ APET® など、何度でも使用・回収して生まれ変わる低環境負荷製品を食品の包装に積極的に使用しています。また、プラスチック使用量の少ないトレーへの変更、バラ販売の強化や簡易包装で脱プラスチックをめざします。一部を鮮度保持フィルムへ変更することで鮮度の劣化を抑え、食品廃棄量の削減にもつなげます。



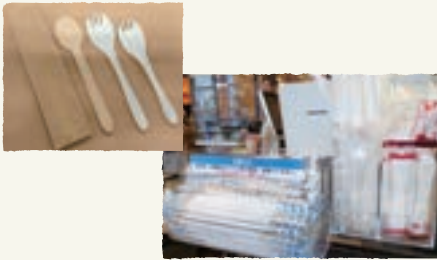
エコトレー®
一度使用済みトレーを回収し、リサイクルした原料から再生した環境対応製品



エコ APET®
PET 素材の透明容器および PET ボトルを回収し、リサイクルした原料から再生した環境対応製品

環境配慮型カトラリーの導入

プラスチック資源循環促進法施行に伴い、2022 年 4 月よりレジで無料配布していたプラスチック製品の見直しを実施。先割れスプーンやミニスプーンなどのカトラリーはバイオマスプラスチックを含んだ素材に変更、提供数の少ないプラスチック製品については提供を廃止するなどしてプラスチック資源の削減に努めています。また、専用什器の設置や、お客さまよりお声かけのあった場合のみお渡しするなど、必要数を提供することで使用量の削減にもつなげます。



GSHIP (ジーシップ) への参画



フレスタホールディングスでは、2050年までに瀬戸内海に新たに流出する海洋プラスチックごみゼロをめざす「2050輝くGREENSEA 瀬戸内宣言」の実現に向け、官民連携プラットフォーム「GREENSEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム(略称GSHIP)」に参画しています。店頭でのリサイクル資源回収の強化や営業に伴い排出されるプラスチック使用量の削減、清掃活動への参加など、課題解決に向け日々取り組んでいます。



▲廿日市市鳴川海岸
クリーンアップ作戦

プラスチック製レジ袋削減

フレスタグループでは、容器包装リサイクル法の改正前よりプラスチック製レジ袋の有料化を推進し、レジ袋の消費量・流通量の削減に取り組んでいます。現在、お客さまのレジ袋持参率は80%を超え、全店舗でバイオマス素材配合30%のレジ袋に変更しています。

フレスタグループ店舗レジ袋持参率

